

W32-7555

横河電機

デジタルマルチメータ 7555

使用できる機種 7551,7552,7555,7561,7562

7551,7552,7555,7561,7562は、横河電機の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-7555-N	NI社	85,000円	Windows 7/8.1/10/11(64bit) MS-Excel 2010/2013/2016 2019/2021(32bit Only)
W32-7555-R	ラトックシステム製		

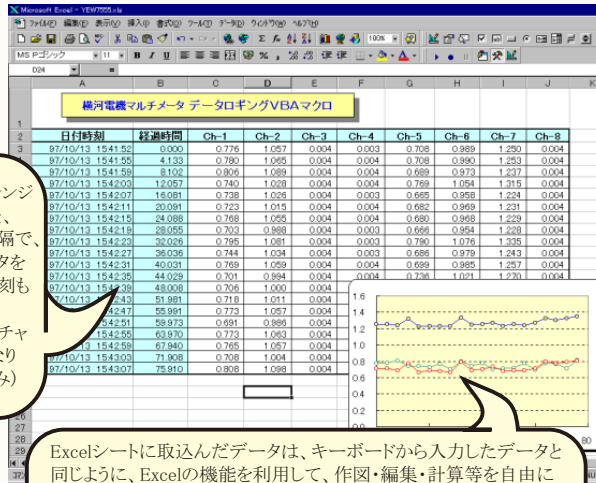
機能



・データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。7555ではスキャナ・カードにも対応しております。また、周波数測定には対応しておりません。

概要



本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。「START」ボタンでデータの取り込みを開始します。

スタートすると、ファンクション・レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要な日付時刻も付加することもできます。スキャナカードを増設すれば多チャンネルのデータ取込が可能となります。(但し、直流電圧測定のみ)

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。
※本アドインにグラフ機能はありませんのでご注意ください。

操作説明

測定器からデータの取込を開始します。

測定ファンクションを設定します。

マルチメータのサンプリング速度を設定します。

測定レンジをAUTO/MANUALで切換えます。AUTOのチェックを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値が一番近い1つ上のレンジに設定されます。

スキャニングデータに日付時刻を付加します。

最初のデータ取込時、チャンネルNo等のヘッダを付加します。

データの入力と共にシートをスクロールします。

チェックすると、測定中、FREE RUNとなり、チェックを外すとHOLDモードになります。

データの取込を中止します。

Excelシート上のカーソルを左右/上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

表示するExcelシートを切換えます。

7555を使用する場合だけチェックを付けます。

スキャナカードを使用して測定を行います。(下図参照)

データを取込むスキャニング回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、「STOP」ボタンが押されるまでデータ取込を続けます。入力できる最大回数は、64000回です。

データを取込む時間間隔を入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。最大時間は、3600秒です。

マルチメータのGP-IBアドレスを設定します。

アドインを終了します。

注)7555のGP-IBコマンドは「0」にセットしてください。(7555のマニュアル参照) 他のマルチメータでは、セットは不要です。

スキャナ設定

測定チャンネル選択

Ch 1 Ch 5

Ch 2 Ch 6

Ch 3 Ch 7

Ch 4 Ch 8

ALL ON ALL OFF

QUIT

データの取込むチャンネルにチェックを付けます。

全チャンネルにチェックを付けます。

全チャンネルのチェックを外します。

7555のオプションのスキャナカードを取り付けた場合、データ取込チャンネルを指定します。スキャナカードを取り付けていない場合、ここでの設定を行うとエラーが発生します。スキャナを使用する場合、7555の仕様上、測定ファンクションは直流電圧測定に限定されます。